

江東区の水害対策

江東区はもともと地盤が低く、東京湾の平均海面高と同等程度から海面下約3mの地形をしています。そのため、東は荒川、西は隅田川の河川をコンクリート護岸で固めるとともに東京湾側には高潮防潮堤を巡らせることで外からの流入を防ぐ、いわゆる輪中を形成しています。

そのため、内部に降った雨水を速やかに下水道管を通じて河川等に排水することが水害を最小限にする方策となっています。

しかしながら、昨今のヒートアイランド現象に見られる局地的な短時間集中豪雨等により排水能力を超える大雨が増えており、一時的に浸水被害が発生することが予想されています。この浸水ハザードマップでは、大雨が予想される場合や浸水被害にあった場合の事を載せていますので、水害対策にお役立て下さい。

災害に強い都市基盤整備

- ★近年、都心部においてヒートアイランド現象によると考えられる局地的な集中豪雨が頻りに発生しており、都市型水害が深刻な問題となっています。
- ★このような中、東京都は、降った雨を速やかに河川や東京湾に排水するための雨水幹線やポンプ所、降った雨を一時的に貯留する調整池などの下水道施設の整備を進めています。
- ★また、区においても下水道施設への負担を軽減するため、公共施設や民間建物における雨水の貯留・浸透施設の設置指導を行うほか、下水道枝線の再構築を行うなど、浸水被害の早期軽減を図るため、都と連携した流域対策に取り組んでいます。



A.P. (Arakawa Peil)

隅田川河口の水位を測るため、明治6年に現在の中央区新川2丁目地先の河岸に設置された霊岸島量水標零位の略称である。この霊岸島量水標零位は、ほぼ大潮干潮位に当たることから、荒川工事基準面として使用され、その標高、水深はA.P.で表示されている。東京湾平均海面高は、A.P.+1.134mに相当します。

都市型水害にご注意

下水道を建設し始めた当時、雨水等は地下に浸透するという計画の下で、建設を進めましたが、現在では雨水のほとんどが下水道に流れ込んでしまい、下水道の処理能力を超えて道路冠水や住宅への浸水被害が発生する「都市型水害」が多発するようになりました。

江東区でも、集中豪雨や台風の上陸により下水の排水能力を超える雨が降り、下水の逆流などにより、半地下の駐車場や倉庫、地面と段差のない建物への浸水被害が発生しています。

また、このような集中豪雨の場合、被害をもたらす雨量が比較的短時間に集中することもあるため、非常事態になってから準備したのでは間に合いません。ふだんから家の周りをチェックして、排水や止水対策を考えておきましょう。

- <マンホールに注意>
大雨により古いマンホールでは、ふたが外れることがあります。危険ですから近寄らないで下さい。また、発見したときには下水道局へ連絡をお願いします。
- <マンホールを開けないで>
道路に溜まった雨水を流すため、みなさんがマンホールや雨水・汚水ますを開けることは事故につながり非常に危険ですのでおやめ下さい。

浸水に備えて

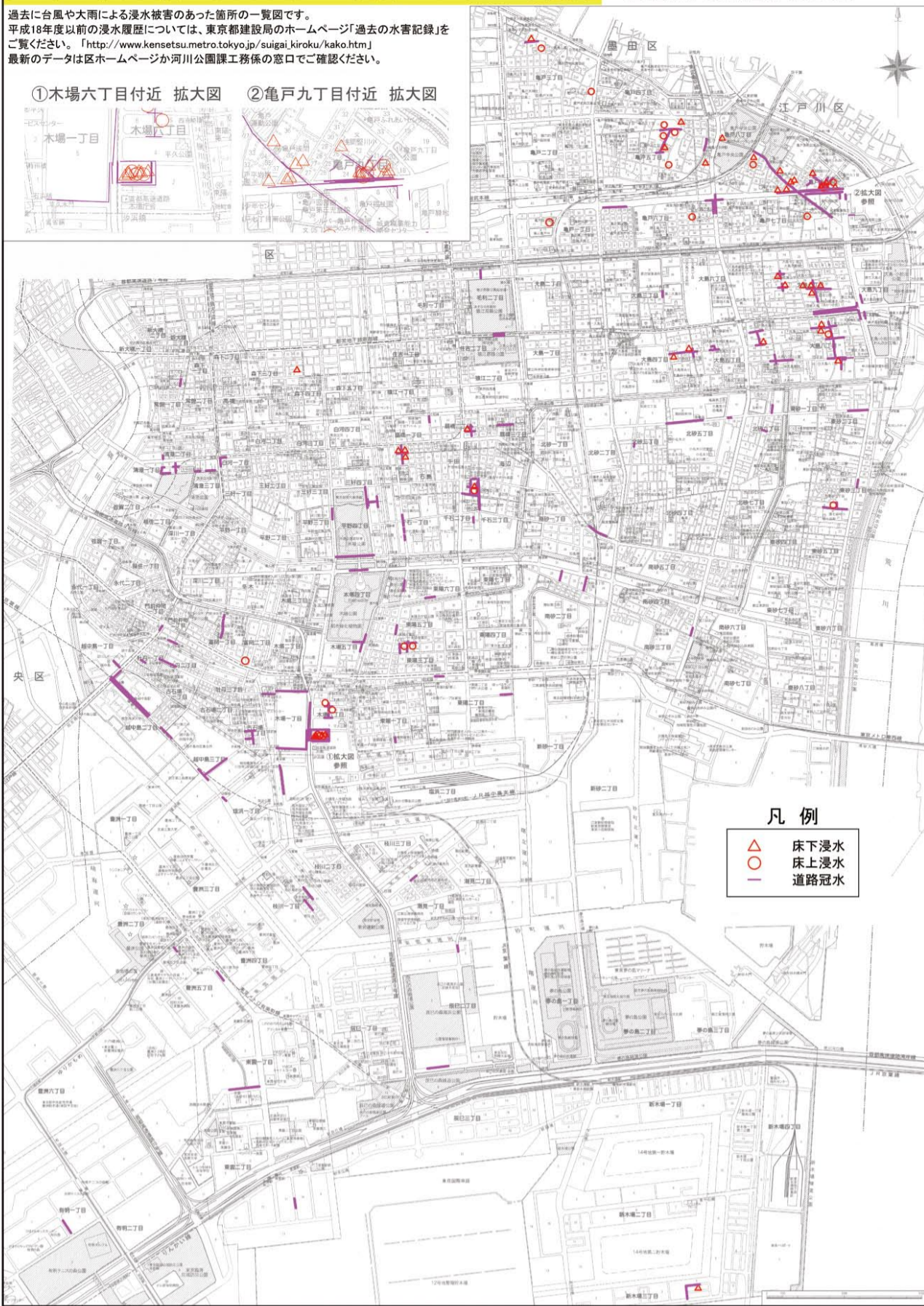
- ・地図上であなたの家と、近所で避難できる3階以上の堅牢な建物を確認しておきましょう。
- ・避難できる場所まで実際に歩いてみて避難路を確認しましょう。
- ・家族で避難時の行動について話し合っておきましょう。
- ・避難時の持出し品を日頃から準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- ・ラジオの電池や食糧等の備蓄も点検しておきましょう。

水害に備えて区民の皆様をお願いいたします。

- <家の周りをチェック>
家の周りや近所に排水を妨げるものが無いか確認しておきましょう。特に「側溝」や「雨水ます」の周りに物を置かないようにし、清掃をしておきましょう。「側溝」や「雨水ます」が詰まると冠水や浸水の原因になります。
- <土のうや止水板の準備>
低地・くぼ地・地下室や半地下の入口には、浸水を防ぐため「土のう」や「止水板」を用意しましょう。区では「土のう」の保管を希望される方に無償提供しています（詳しくは区ホームページを参照して下さい）。
- <大雨時の排水>
下水管の排水能力を保つため、外で大雨が降っている時は洗濯の水やお風呂の水を流さないようにしましょう。
- <地階・地下室での注意>
地階・地下室では外の状況が判りにくい環境にあります。大雨のときは外の様子の確認やテレビ・ラジオ等からの情報収集を怠らないようにしましょう。また、大雨や集中豪雨により雨水が地下室に流入する危険性があります。豪雨時の地下室利用には十分注意しましょう。

江東区浸水履歴図(平成18年度～平成29年度)

※本図面は平成18年度から平成29年度までに発生した浸水被害を全て重ね合わせて1枚の図面にしたものです。



地下に流入した水の力

● 流れ込んだ水圧でドアは開かなくなります。



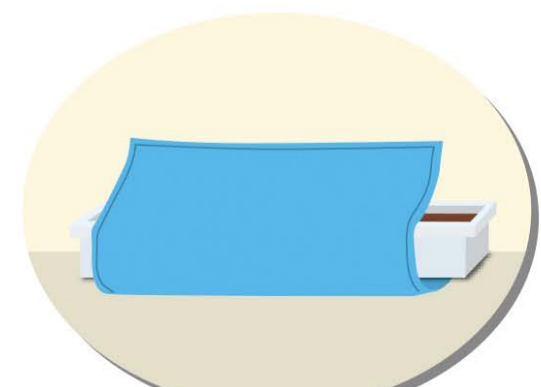
● 階段を流れ落ちる水の深さが増すと、階段を上ることが困難になります。



初期の段階での水防工法を紹介します。(消防署資料による)



厚手のビニール袋に水を入れ、玄関等の入口に土のうの代わりに使用します。また、並べた段ボールに水のうを入れる方法もあり、強度が増し、水のうも積み重ねられます。



土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。

雨の強さと降り方

- ① 10～20mm / 1時間
ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。雨の音で話し声がよく聞き取れない。
- ② 20～30mm / 1時間
どしゃ降り。傘をさしていてもぬれる。寝ている人の半数くらいが雨に気づく。
- ③ 30～50mm / 1時間
バケツをひっくり返したように降る。
- ④ 50～80mm / 1時間
滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。傘は全く役に立たなくなる。
- ⑤ 80mm以上 / 1時間
息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

避難時の心得 (建物の3階以上へ)

- <避難の呼びかけ>
危険が迫った時には、区や消防署等から防災行政無線や広報車等を使った避難の呼びかけをします。呼びかけがあった場合には、速やかに自宅や近くの堅牢な建物の3階以上に避難して下さい。地図に示した公共施設も利用できません。
- <避難時の注意>
避難の際は、家族や隣近所の人たちと声を掛け合い、災害協力隊の誘導に従うなどできるだけ団体で行動して下さい。また、お年寄りや障害をお持ちの方等、災害時に自力避難が困難と思われる避難行動要支援者や外国人の避難にご協力下さい。

主な公共施設一覧

番号	小学校	番号	小学校	番号	中学校	番号	公共施設等
1	明治小学校	23	第一亀戸小学校	45	亀高小学校	67	南砂中学校
2	深川小学校	24	第二亀戸小学校	46	深川第一中学校	68	第二南砂中学校
3	八名川小学校	25	香取小学校	47	深川第二中学校	69	江東区文化センター
4	臨海小学校	26	浅間野川小学校	48	深川第三中学校	70	カメラアブラザ
5	越中島小学校	27	水神小学校	49	深川第四中学校	71	総合区民センター
6	数矢小学校	28	第一大島小学校	50	深川第五中学校	72	パルシティ江東
7	平久小学校	29	第二大島小学校	51	深川第六中学校	73	教育センター
8	東陽小学校	30	第三大島小学校	52	深川第七中学校	74	ティアラこうとう
9	南陽小学校	31	第四大島小学校	53	深川第八中学校	75	スポーツ会館
10	川南小学校	32	第五大島小学校	54	有明中学校	76	亀戸スポーツセンター
11	扇橋小学校	33	大島南中央小学校	55	辰巳中学校	77	東砂スポーツセンター
12	元加賀小学校	34	砂町小学校	56	東陽中学校	78	深川北スポーツセンター
13	毛利小学校	35	第二砂町小学校	57	亀戸中学校	79	深川スポーツセンター
14	東川小学校	36	第三砂町小学校	58	第二亀戸中学校	80	有明スポーツセンター
15	豊洲小学校	37	第四砂町小学校	59	第三亀戸中学校	81	東大島文化センター
16	豊洲西小学校	38	第五砂町小学校	60	大島中学校	82	砂町文化センター
17	豊洲北小学校	39	第六砂町小学校	61	第二大島中学校	83	森下文化センター
18	東雲小学校	40	第七砂町小学校	62	大島西中学校	84	古石場文化センター
19	有明小学校	41	小名木川小学校	63	砂町中学校	85	豊洲シビックセンター
20	枝川小学校	42	東砂小学校	64	第二砂町中学校		
21	辰巳小学校	43	北砂小学校	65	第三砂町中学校		
22	第二辰巳小学校	44	南砂小学校	66	第四砂町中学校		

江東区の水害の歴史

災害発生日	災害の種類	被害件数	総雨量	時間最大雨量
昭和22年 9月14日	カスリン台風	1,771戸	167mm	-
昭和24年 8月31日	キティ台風	3,193戸	70mm	-
昭和33年 7月23日	台風11号	10,853戸	64.7mm	-
昭和33年 9月26日	狩野川台風	44,528戸	392.5mm	76.0mm
昭和56年10月22日	台風24号	1,425戸	221mm	42.0mm
平成5年 8月26日	台風11号	95戸	224mm	36.5mm
平成11年 8月29日	集中豪雨	15戸	82.5mm	56.0mm
平成12年 7月4日	集中豪雨	41戸	82.0mm	78.5mm
平成16年10月9日	台風22号	107戸	257.5mm	75.0mm
平成16年10月20日	台風23号	9戸	202.5mm	39.0mm
平成19年 8月24日～25日	集中豪雨	50戸	117.0mm	99.0mm
平成22年 9月8日	集中豪雨	6戸	90.0mm	50.5mm
平成23年 8月19日	集中豪雨	2戸	119.5mm	80.0mm
平成25年10月15日～16日	台風26号	21戸	241.5mm	49.5mm
平成26年 9月10日	集中豪雨	22戸	114.0mm	88.0mm

わが家の水害対策メモ

ふだんから家族の緊急連絡先や避難行動について話し合ひましょう。

わが家の避難できる場所

名前	生年月日	連絡先	電話番号	血液型	既往症等

◆お問合せ先◆
江東区土木部河川公園課 江東区東陽 4-11-28 03-3647-2538
江東区総務部危機管理室防災課 // 03-3647-9584
江東区役所ホームページ <http://www.city.koto.lg.jp/>
平成30年3月作成

